



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

2020.12.18

教育委員会だより No.113

愛村心（I 尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会



天栄村地域拡大大学校保健委員会

～新型コロナウイルス感染症、健康面の課題～

村保健士、学校園の養護教諭、保健担当、校長、PTA会長、教育委員会担当が集まり、村の子どもたちの保健に関する課題について情報交換し、話し合いをしました。

新型コロナウイルス感染症対策では、密を避けること、マスクを着用すること、活動時間を短くすること、手指消毒、手洗いが重要であることが確認されました。また、村の子どもたちの健康課題としては、小学校で全体的に肥満傾向にあることが報告されました。

各学校園で感染症対策や健康課題への取組が今後も進められます。学校と家庭との連携した取組、継続した取組によって、寒い時期も健康で安全に過ごせるようにしていきましょう。



天栄村教育ポータルサイト

検索

← QRコード

↑ 検索ボックス

学校での子どもたちの様子が載っている！
学校の取組が見える！！

第2回生徒指導推進会議

不登校やいじめ問題等について各校の現状と取組を報告し、協議しました。さらに、役場内にある適応指導教室「ほっとルーム」に移動し、適応指導教室での指導の実際について、スクールソーシャルワーカーの説明を聞き、部屋を見学しました。自校の指導体制、家庭との連携を点検する機会となりました。



適応指導教室

村学力調査実施

11月30日（月）～12月4日（金）までを村の学力調査実施期間と定め、村内全校において国語科と算数科の学力調査を実施しました。

児童・生徒一人一人の学習の成果と課題を明らかにし、実態を踏まえた指導に改善していくこと、村全体の教育のあり方を評価、検討するために行います。結果は1か月程度で各校に届きます。結果を分析し、すぐに指導改善につなげていきます。

各校で授業研究会



広戸小
授業研究会

2学期後半になり、各校で授業を参観して、子どもの学ぶ姿を基に協議をする授業研究会が盛んに行われています。

教育委員会からも指導主事を各校に派遣し、各校のテーマに沿った授業改善の要点について指導、助言しています。日々の授業が充実するよう学校と教育委員会とで連携しながら取り組んでいます。



<<<生涯学習事業>>>

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

○ 第32回ふくしま駅伝

11月15日（日）、第32回市町村対抗福島縦断駅伝競走大会が開催されました。今年の大会は新型コロナウイルス感染症対策として、例年より短い9区間（50.2km）で行われ、様々な制約が多い中、天栄村の選手は村の代表として郡山市から福島市までを全力で駆け抜けました。

沿道や会場での応援が自粛となったため、瀬和マユミ実行委員長、補欠選手、サポート選手、選手保護者は生涯学習センターでリモート中継を観覧し、各中継所にいる選手にはビデオ通話を通じて応援を行いました。

全員が気持ちを一つにして挑み、総合成績では34位、村の部7位と健闘し、個人成績としては岩崎麻知子選手（学法石川高校1年）が村の部の1区で区間賞となりました。



○ 寿大学 閉講式

11月30日（月）、生涯学習センターで、寿大学の閉講式が開催されました。28名の受講者がおり、うち20名が皆勤賞を受賞しました。今年度は当初5月から開講予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため7月より開講し全6回の開催となりました。講座の中では、体を動かしたり、芸術鑑賞、文化祭出品のための作品作り等を行ったりして楽しみました。

